

No.121	2025年度 電源の統合コスト低減に向けた電力システムの柔軟性確保・最適化のための技術開発事業（日本版コネクト&マネージ2.0）／研究開発項目3－2 水力発電の柔軟性向上のための技術開発	
機関名	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	
募集締切 (公募機関)	2025 年 10 月 1 日(水)～2025 年 11 月 4 日(火) 正午 アップロード完了	
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2025年10月28日(火)
応募方法	WEB入力フォームによる提出及びe-R a dによる提出 ※Web入力フォームへの提出及びe－R a dへの応募情報の入力には各申請者が行ってください。	
所属研究機関の承認(e-Rad)	不要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	不要	
概 要	●公募の対象 本公募では、「研究開発項目3－2水力発電の柔軟性向上のための技術開発」を対象に、以下の目標に対する提案を募集します。 ・最終目標（2028年度末） 揚水式水力発電を除く一般水力を対象に、以下の〔1〕〔2〕を一体的に行い、中小型水車に関しては河川や農業用水等への多数の水車導入による運用台数の制御によって、大型水車に関しては単機容量の運用幅の拡大によって発電量の柔軟性を向上させる。 〔1〕 中小型水車の設計・解析支援技術の開発 模型試験プラットフォームを構築し、設計や過渡応答評価に必要な手法やツールを整備・公開する。さらに、中小型水車の導入を促進するため、様々な落差・流量に対応する種々の形式の水車について、標準設計（比速度70～600程度）として公開する。 〔2〕 大型水車の極低負荷運転評価手法と最適運用・制御システムの開発 実機検証を行うことを通じ、発電電力量の向上と機器損耗の低減等を可能とする最適運用・制御システムを構築する。極低負荷運転の評価手法や既存の制御システムとの取り扱い方法などはメーカーや発電事業者等に公開する。 ・中間目標（2026年度初頭） 必要な検証の実施体制を構築し、技術開発・検証を2028年度末時点で完了する見通しを得る。	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。